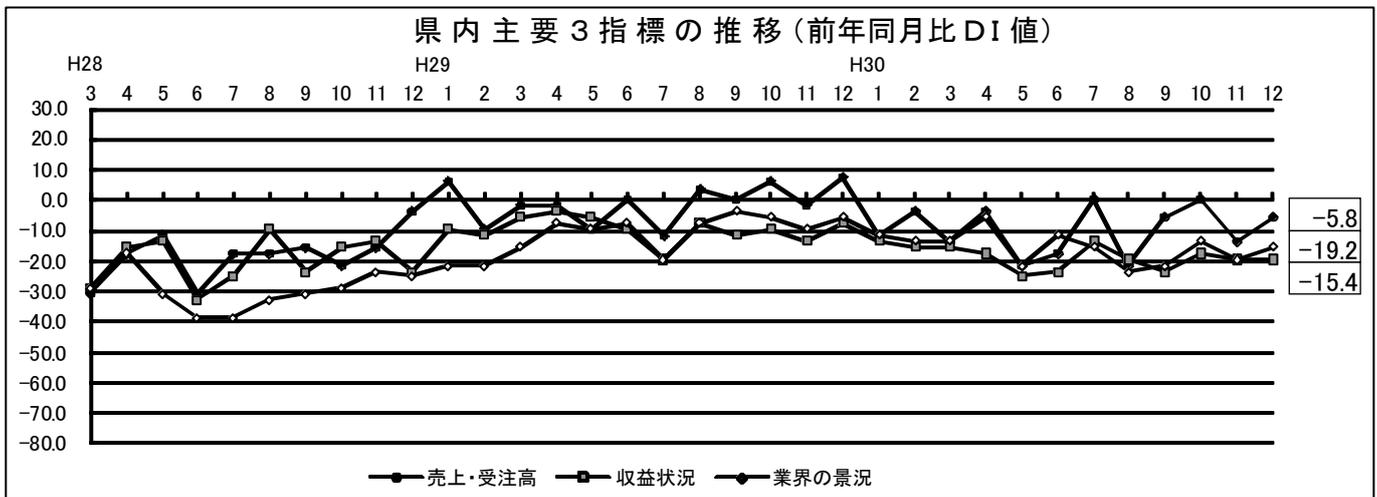


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年12月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「取引条件」「業界の景況」の3指標が上昇し、「在庫数量」「販売価格」「資金繰り」「雇用人員」の4指標が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より7.7ポイント上昇し-5.8ポイント、「収益状況」が前月と変わらず-19.2ポイント、「業界の景況」が前月より3.8ポイント上昇し-15.4ポイントであった。
- 12月は、「売上高」「業界の景況」の主要2指標が好転したが、非製造業においては暖冬となったことで季節商品の販売が低迷した。特に年末商戦が昨年に比べ盛り上がりに欠けたと感じる声も多く聴かれた。また、依然として、運送業をはじめとした全業種にて人手不足が慢性化しており、一層深刻な状況となっている。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-5.8	+7.7	-11.2	-3.5
収益状況	-19.2	0.0	-18.2	-0.5
業界の景況	-15.4	+3.8	-17.6	0.0

売上・受注高

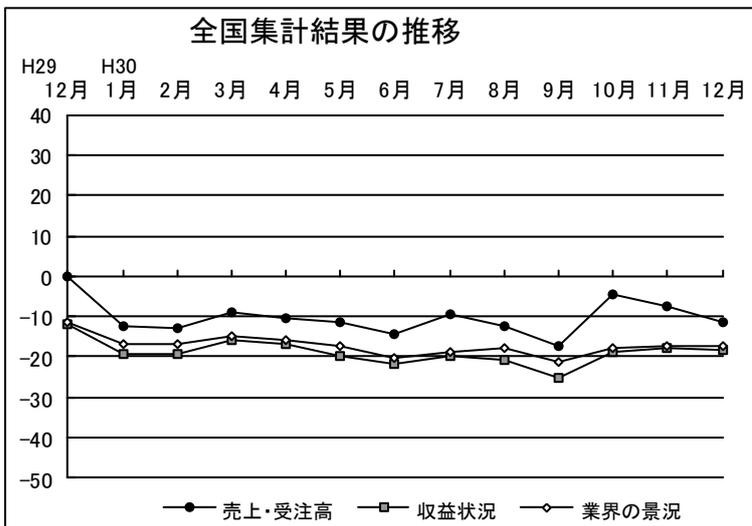
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より7.7ポイント上昇し、-5.8ポイントとなった。全国においては、前月より3.5ポイント下降し-11.2ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月と変わらず-19.2ポイントとなった。全国においては、前月より0.5ポイント下降し-18.2ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.8ポイント上昇し-15.4ポイントとなった。全国においては、前月と変わらず-17.6ポイントとなった。



-概 況-

12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「取引条件」「業界の景況」の3指標が上昇し、「在庫数量」「販売価格」「資金繰り」「雇用人員」の4指標が下降した。

主要3指標は、「売上高」が前月より7.7ポイント上昇し-5.8ポイント、「収益状況」が前月と変わらず-19.2ポイント、「業界の景況」が前月より3.8ポイント上昇し-15.4ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、1業種が低下した。

12月は、「売上高」「業界の景況」の主要2指標が好転したが、非製造業においては暖冬となったことで季節商品の販売が低迷した。特に年末商戦が昨年より盛り返りに欠けたと感じる声も多く聴かれた。また、依然として、運送業をはじめとした全業種にて人手不足が慢性化しており、一層深刻な状況となっている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	×	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	×	×	×	△	△	△
木材・木製品	△	×	○	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	○	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-75.0	-50.0	0.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	-25.0	-50.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	0.0	-75.0	50.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
製造業	-8.0	-16.0	8.0	-8.0	-20.0	-20.0	4.0	-4.0	-12.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-57.1	-28.6	28.6	-28.6	-57.1	-28.6		-14.3	-71.4
サービス業	16.7		0.0	-16.7	-33.3	-16.7		0.0	-16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		-25.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-3.7	-20.0	7.4	-11.1	-18.5	-11.1		-7.4	-18.5
全体	-5.8	-17.1	7.7	-9.6	-19.2	-15.4	4.0	-5.8	-15.4

図表3～【指標別DI値の推移】

	29年 12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月 比
売上高	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	7.7
在庫数量	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-11.4
販売価格	3.8	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	-1.9
取引条件	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	1.9
収益状況	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	0.0
資金繰り	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-5.8
設備操業度	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	0.0
雇用人員	0.0	3.8	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	-3.9
業界の景況	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	3.8

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-75.0	-100.0	0.0	0.0	-50.0	-50.0	-50.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	75.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	25.0
製造業	0.0	-16.0	0.0	4.0	-4.0	-12.0	0.0	0.0	4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-14.2	0.0	-14.3	0.0	-28.5	-14.3		-14.3	-14.3
サービス業	33.4		0.0	0.0	16.7	16.6		0.0	16.6
建設業	40.0		0.0	0.0	20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		-25.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	14.8		0.0	-3.7	0.0	3.7		0.0	-7.1
全体	7.7	-11.4	-1.9	1.9	0.0	-5.8	0.0	-3.9	3.8

特記事項

情報連絡員報告（平成30年12月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	一部原材料（小豆）が値上がりしている。
縫製業	国会では、外国人実習生事業の実態について正しく理解されないまま、外国人雇用拡大の議論が進められていると感じる。実習生の賃金が安いと言っているが、地方の中小企業では、日本人パートは最低賃金だけだが、実習生は給料以外に渡航費、管理費、社会保険料、JITCO会費、寮備品代、講習費（1ヶ月作業なしで座学）等、パートの日本人と比べて多額の費用がかかり、コストは日本人の1.5倍の費用負担があることを考えないで、手取金額のみを論じている。それでも実習生を入れないと人手がいない厳しい状況である。
染色整理業	若干（一部）悪化の傾向がみられる。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	業界内では冬物の製品は昨年比マイナスと伝わってきている。気温の変化もあると思うが、消費者の手控え感の方が強そうとのことである。年末までの動きも近年の不振から見れば、まずまずといったところである。新年から受注が増えることを期待したい。
一般製材業	例年12月は年末の為、加工物件は多いが、昨年と比べると減少した。1月は休みが多く、加工坪数にも限りがあるので、売上は減少してしまう。
建具製造業	組合員によって受注量にかなりの差異があるようで、好況・不況が同時並行している。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりは無い。
石灰製造業	全体的に昨年並み若しくは若干減少気味であるが、大きな変化ではなかった。トータルすると昨年並みであった。
金属製品製造業	自動車部品関連、機械設備関連、工作機械関連、プレス金型関連、半導体関連いずれも横這いである。
一般機械器具製造業	30年12月の報告は、前年同月と比較し全般的にほぼ不変という結果となった。受注量の不安があるものの前年同様、また、仕入単価は上昇傾向懸念が続いている。なお、相変わらず人手不足も継続中である。
一般機械器具製造業	全体的に大きな変化がなく、それなりの動きである。しかし先行が不透明なため、心理的に景況感が出てこない感がある。原因は、政治への不信の増大が根本原因であろう。民意に耳を傾けなければ、景気が上向くはずはない。
各種商品卸売業	団地内企業は、前月に続き概ね不変又はやや増加・好転とする企業が多い。団地内企業の従業員も増え、共同駐車場もほぼ満車状態が続いている。 食品添加物・調味料卸売業では、引き続き安定した取引状況が続いているが、取引先への県外同業他社からの営業攻勢もあり、今後の競争激化が懸念される。
食肉小売業	売上は若干減少傾向であるが、仕入価格が低迷しているため、粗利は良くなっている。
各種商品小売業	低調な年末だった。飲食関係も売上減少と聞いている。物販も、大型店を含め積上がりに欠けた12月だった。
各種商品小売業	比較的暖かい日が続いた為、アパレル系を中心に冬物の伸びが悪かったが、館全体としては売上・客数ともにほぼ前年と同水準の結果となった。年末にかけては客数の増加が著しく、正月期間に期待が膨らむ流れであった。2019年も良い一年となるように引き続き地域密着・地元密着第一で営業していきたい。
花・植木小売業	正月用の松・千両は台風による塩害や産地の高齢化、人手不足などにより、前年対比で15%程の入荷減となった。年々、松・千両の取引規模は縮小している。クリスマス需要も年々落ち込みが見られる。歳暮需要のシンビ鉢やシクラメン鉢、お正月家庭用の切花についても動きは鈍く、全体的に今ひとつ盛り上がり欠けた年末商戦であった。
理容業	組合員の高齢化、後継者なしの理由で、廃業・組合脱退者が依然として増加している。早急な対応策を考えなくてはならないが、組合運営の面も同時に考慮しながらとなるため、大変難しい問題となっている。

自動車整備業	長期の売掛金の関係もあり、資金繰りの悪化が見られる。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの7ヶ月間に関し少し停滞感がある。12月は例年とは違い、市内宿泊は公共施設の改装工事や市内中心部再開発に伴うメンテナンス業者の宿泊が増え、第4週まで高稼働で推移した。一方で、レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門は多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。飲食店利用に関しては、忘年会が11月最終週から始まり、年末年始の利用まで順調に繁忙期を迎えた。
ビルメンテナンス業	人件費及び派遣人件費が増える傾向は変わらず、収益状況は悪化している。
給食センター	売上高は、産業弁当の食数減や不採算部門の撤退等により減少となった。米や野菜等の食材や燃料の値上げにより厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは12%減、敷物用ラベルは335%増、壁装用ラベルは174%増であった。敷物用・壁紙用ラベルは増加した。防災ラベルの支給(売上)金額は前年同期4月～12月累計では5%減であった。
一般貨物自動車運送業	年末の繁忙期であり、荷動きは非常に活発であった。荷主との運賃交渉により、運賃価格が上昇した事業所も増加している。燃料価格も前月比で7円程度値下げとなり、コスト削減となった。
貨物軽自動車運送業	上旬は例年になく静かなスタートになったが、中旬から下旬にかけては例年通りであった。食品関係や建築資材、精密機器など突発的な事案や、新規のお客様も含め配車が見つからず、荷主様に迷惑をかけてしまった。
一般乗用旅客自動車運送業	運転手不足等に伴い稼働台数が減少し、若干ではあるが、1台当たりの売上が伸びている。総額で伸びているのかは不明だが、年末にタクシー待ちのお客様が散見された。
大谷石採石業	前年同比でほぼ同じで推移した。大谷石と同類の深岩石や芦野石の問い合わせや取扱いが多くなっている。